

地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業計画書

1. 基本情報

自治体名	他市町村との連携	事業番号	事業名			
福島県	－	A-5	全日本小学生ゴルフトーナメントでの風評払拭 P R 事業			
事業実施年度	当該年度総事業費	経費区分（該当区分に○を入力）				
R 8 年度	1,756,007 千円	①情報発信事業			②外部人材活用	
事業費	左記 事業費のうち 国費負担分	i 風評動向調査	ii 体験等企画実施	iii 情報発信コンテンツ 作成	i 企画立案のための外 部人材の活用	ii 地域の語り部の育成
4,549 千円	2,274 千円		○	○		

2. 風評等の現状や課題、これまでの取組

自治体が抱える風評等の現状について											
○ 「風評・風化対策に関する情報発信分析事業（全国を対象とした Web 調査）」で以下のような結果が示されている。											
<福島県のイメージについて「良い」「まあまあ良い」の回答 単位%>											
震災発生前	震災発生後	H27.10	H28.8	H29.9	H30.9	R1.9	R2.9	R3.9	R4.9	R5.9	R6.9
43.8	20.4	28.7	33.8	37.1	40.6	41.1	43.0	46.1	52.0	51.4	49.0
<福島県産食品の購入意向>											
「福島県産は購入しない」と「福島県産をやや避けている」を合わせた割合 12.1%（R6 年）											
<福島県への訪問意向>											
「訪れたくない」と「あまり訪れたくない」を合わせた割合 14.4%（R6 年）											
上記の現状の原因となる課題について											
○ 福島県産食品の購入や本県への訪問にネガティブな層が一定程度存在し続けており、本県の事業者はハンデを背負った状態での経済活動を強いられている。											
○ 震災・原発事故から長い時間が経過し「風化」が進行していると考えられる。また、風化の進行や風評が根強く残る一因となっている可能性がある。											
○ 特に、情報が届きにくい離れた地域で風化が進行しているため、北海道や中部地方、関西地方等における情報発信にも力を入れる必要がある。											
上記の課題に対するこれまでの自治体の取組について（自治体独自の取組を含む）											
各部局において、風評払拭に向けた情報発信を実施してきたが、本事業関連としては、全国規模の大会である「全日本小学生ゴルフトーナメント」の決勝大会を開催し、ゴルフを通じた											

交流人口の拡大を図ってきた。なお、本大会は平成 18 年から令和 7 年まで 19 回の開催実績があり、震災後の平成 23 年から 27 年までの 5 回は千葉県野田市で開催されたが、それ以外は県内で実施している。（令和 2 年は新型コロナの影響で中止）

上記の取組における成果について

全国から来県する小学生、保護者及び大会関係者は、トーナメント中心の日程であるため、本県の復興状況を理解し、地域の魅力に触れる時間が限られており、これまでは大会に合わせて NPO による県南地域の 6 次化商品、お土産品を販売するブース出展や、宿泊施設周辺での飲食による地域消費を通じて一定程度の経済効果があったが、情報発信の観点では目立った施策は展開できていなかった。

しかし、多くの大会関係者等が県外から来県する好機であることから、今後は大会に合わせて、直接的に見て・味わって・感じてもらう体験型の発信を行い、県外に向けた風評払拭につなげていく必要がある。

3. 事業内容の詳細

今年度の具体的な取組内容 ※以下の項目に沿って記載をお願い致します。

1. 全日本小学生ゴルフトーナメントでの風評払拭 P R 事業

- ① 実施期間：令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月（大会本体は令和 8 年 10 月 17 日（指定練習日）～令和 8 年 10 月 18 日（本戦））
- ② 実施体制：単独（市町村連携あり）
- ③ 実施場所：福島県内（主に県南地域を想定）
- ④ 概算費用：4,549 千円
- ⑤ 実施内容：県内で開催されるジュニアゴルフの全国大会において、来県者に向けて本県の復興状況や地域の魅力を発信し、風評払拭につながる取組みを実施する。
 - 1 県産食材を使った食事の提供による食の美味しさや安全性の発信。（来県する選手やその家族、大会スタッフ（競技委員等）に対する食事の提供。指定練習日の朝食、昼食、夜の食事会（飯）及び本戦の朝食、昼食での食事に県産食材を使用することで、食の美味しさや安全性を切れ目なく発信する。）（※想定）
 - 2 開催自治体と連携した本県の伝統文化等に触れる機会の提供による魅力発信（白河だるまの絵付け等。指定練習日での実施を想定。基本的に全選手が対象になるが、選手が難しい場合は家族に体験していただく可能性がある。）（※想定）
 - 3 ゴルフに関連のある著名人起用等による情報発信等（ゲスト出演 1 名、委託先に動画制作を依頼、県外にリーチできるような SNS での発信等）（※想定）
 - 4 本大会地区予選大会等での県 P R ブース出展等（近畿エリア（対象都道府県：和歌山・奈良・滋賀・京都・大阪・兵庫）、もしくは中部北陸エリア（福井・石川・富山・長野・静岡・愛知・三重・岐阜））（※想定）
- ⑥ 「復興・創生に向けた取組や食品等の安全性等の情報」の具体的な発信内容：

⑤の 1 により、来県者に対し県産食材を使った料理を実際に味わっていただき、美味しさを伝えることに加えて、展示等による食品の安全性の発信を行う。展示は庁内や市町村の既存のパネルを使用するが、情報が不足する場合は必要に応じて新たに作成することも検討。
- ⑦ 「地域の魅力に関する情報」の具体的な発信内容：

⑤の２により、来県者に対しては本県の伝統文化に触れる機会を提供し直接魅力を味わっていただき、⑤の３，４により、来県者以外に対しては SNS 等による発信等を通じて広範に地域の魅力を発信するとともに、風評払拭に繋がる情報発信を行う。

⑧ 福島県内でイベント等の事業を実施する理由

(1) イベント等への参加者の半数以上が県外からの参加者となる理由とその確認方法：

本大会は全国各地の地区予選を勝ち抜いた小学生が参加対象であり、大会参加者 76 人中地域交流枠 4 人を除く 72 人は県外在住者となるため。居住地の確認は、選手においては居住地が記載されている選手名簿を活用し、選手以外の大会関係者（保護者、競技委員等）においては申込み時や受付時に聞き取る。

(2) 事業費の半分以上が県外への情報発信に要する費用となる手法：

事業の対象は本大会への参加者及び関係者となるため、事業費の大部分は県外在住者に向けた情報発信費用となる。

4. 事業における目標等

今年度におけるアウトプット ※定量的な目標に限る	今年度におけるアウトカム ※定量的な目標に限る
事業に関連したイベントの延べ参加人数（人） 150 名	福島県に対する良いイメージを持っている人の割合 50%以上 (出典：福島県風評・風化対策分析強化事業（サンプル数：2000 名以上）)
長期的な目標 ※1 つ以上は定量的な目標を設定	長期的な目標の現在の進捗状況 ※達成度合いも記載（○％）
福島県に良いイメージを持っている人の割合：50%以上の継続 (出典：福島県風評・風化対策分析強化事業（サンプル数：2000 名以上）)	福島県に良いイメージを持っている人の割合：49% (出典：福島県風評・風化対策分析強化事業（サンプル数：2000 名以上）)